

第67回 公開講座

Musashi Univ.

地域再生のための コミュニティメディアの活用

開講日▶平成29年

9月23日(土)・30日(土)

10月14日(土)・21日(土)

【コーディネーター】

本学社会学部教授 松本 恭幸



第1回

9/23(土)

市民映像が伝え続けてきたこと ～TVFの変遷から見たこと～

講師 佐藤 博昭(市民がつくるTVF審査委員、本学非常勤講師)

第2回

9/30(土)

100年残るラジオ局を目指して 読谷コミュニティを世界へ発信

講師 仲宗根 朝治(株式会社FMよみたん代表取締役社長)

第3回

10/14(土)

市民による放送局「てにておラジオ」が目指すもの ～ぎふメディアコスモス～

講師 津田 正夫(てにておラジオ代表、元立命館大学教授)

第4回

10/21(土)

江古田でみんなで面白いことを始めよう!

講師 永田 浩三(本学社会学部教授)

会場▶本学1号館1階1101教室 時間▶14時～16時(全4回) 定員▶先着250名

※10/14(土)のみ8号館7階8702教室

許可なく転載することを禁止します。

【受付期間】平成29年8月4日(金)～9月7日(木)

【支払方法】受講初回に、会場の受付にて現金でお支払いください。

【受講料】全4回 2,000円(一般)

【申込方法】裏面をご覧ください。

500円(武蔵大学在学学生父母、武蔵学園卒業生)

無料(高校生、在学生*、後援会会員)

*在学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、
研究生、練馬区特別履修生を指します。



MUSASHI
UNIVERSITY

武蔵大学

経済学部

人文学部

社会学部

ゼミの武蔵 一ゼミで磨く 世界を生き抜く力



地域再生のための コミュニティメディアの活用

9 / 23 (土)

市民映像が伝え続けてきたこと ~TVFの変遷から見たこと~

講師：佐藤 博昭 (さとう ひろあき) 市民がつくるTVF審査委員、本学非常勤講師

1985年日本大学芸術学部映画学科を卒業。専門はビデオアート・実験映画などの映像表現とドキュメンタリー映像論。1985年より個人映像制作を続け、SVP2(Spread Videart Project)代表として海外との作家交流や上映活動も行う。2000年より東京ビデオフェスティバル審査員、NPO法人・市民がつくるTVF理事。2012年より平和・協同ジャーナリスト基金賞作品選考委員。著書に『戦うビデオカメラ』(2008年)、共著に『シリーズ日本のドキュメンタリー 全5巻』(2009~10年)など。

地域の課題と向きあい、映像作品として発信し、問題を共有しようとしている市民映像作家たちがいます。TVF(東京ビデオフェスティバル)は1978年にスタートした市民ビデオのフェスティバルです。現在まで毎回、多くの市民映像作家から優れた作品が届いています。このフェスティバルに寄せられた作品を、時代背景や幾つかの方向性で分類し分析することで、地域の課題が見えてきます。幾つかの作品から、マスメディアとは異なる独自の視点や、映像作品として発信し共有した成果や展開を観ていきます。

9 / 30 (土)

100年残るラジオ局を目指して読谷コミュニティーを世界へ発信

講師：仲宗根 朝治 (なかそね ともはる) 株式会社FMよみたん代表取締役社長

1984年に地元の沖縄県立読谷高等学校普通科を卒業、専門学校国際観光学院観光科を経て、株式会社トラベル翼に入社後23年間ツアーコンダクター並びに統括部長を務め、2007年退職。同年、株式会社読谷クルリゾート沖縄入社後、料飲部支配人として勤務。2008年株式会社FMよみたんを設立、代表取締役社長に就任、現在に至る。

「100年残る企業を目指す」と地域の41名の株主により起業し、2014年の聴取率調査では村内聴取率83.7%という全国のコミュニティFMの中でも異例の高い数字を記録したFMよみたん。24時間放送で、番組を担当するボランティアパーソナリティは現在150名余り在籍し、昨年はテレビスタジオを開設。「YOUTV」映像事業で、インターネットテレビとラジオで同時放送を行っている。そうした地域や行政と連携し、読谷村のファンのコミュニティを県内のみならず全世界に広めようとする、FMよみたんの取り組みについて紹介します。

10/14 (土)

市民による放送局「てにておラジオ」が目指すもの ~ぎふメディアコスモス~

講師：津田 正夫 (つだ まさお) てにておラジオ代表、元立命館大学教授

1943年金沢市生まれ。1966~95年NHKで報道番組の制作・開発などに従事。1995年~東邦学園短期大学教授。2002~12年立命館大学産業社会学部教授。市民メディア参加に関する研究・実践にかかわる。主な編著書は、「ネット時代のパブリック・アクセス」(世界思想社、2011)、「ドキュメント『みなさまのNHK』」(現代書館、2016)など。

日本のコミュニティFM放送局は300余りを数え、その内NPOが運営するものが約1割です。私たちは2015年に新設された「ぎふみんなの森メディアコスモス」で、先行事例に学びながらコミュニティFMを活用した市民の力による言論・表現の小さな公共空間を創ってきました。講義では、てにておラジオの立ち上げから現在までの概要や成果をまとめ、行政や商業FM局との協働、市民放送局運営の課題を提起します。

10/21 (土)

江古田でみんなで面白いことを始めよう!

講師：永田 浩三 (ながた こうぞう) 本学社会学部教授

1977年東北大学教育学部を卒業。NHKで『クローズアップ現代』『NHKスペシャル』などの教養・ドキュメンタリー番組を制作。2009年より現職。著書は、『ヒロシマを伝える』『奄美の奇跡』など多数。現在、ギャラリー古藤で「四國五郎・ガタロ展」を企画。江古田映画祭実行委員長。

江古田をもっとイキイキした街にしたい。さまざまな取り組みが定着してきています。大学の屋上を使った江古田ミツバチプロジェクトは、独自ブランドを持つまで成長。震災・原発事故を契機に始まった「江古田映画祭」は7回目を迎えます。両プロジェクトを支える谷口紀昭さん、田島和夫さんたちに加わっていただき、盛り上がる秘密についてお話を進めます。

お申し込み・受講に関するご案内

PC専用申し込みサイトより
お申し込み

http://www.634.co.jp

FAX、メール、郵送によりお申し込み

- 下記の①~⑥を明記の上、
申し込み先まで送信(郵送)してください。
- ①第67回公開講座「地域再生のためのコミュニティメディアの活用」
 - ②氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所 ④電話番号
 - ⑤FAX番号(ある方)
 - ⑥申込区分(一般、本学在学学生父母、本学園卒業生、
本学園後援会会員、本学在学学生、高校生)

●注意事項

(ア)いったん納入された受講料は返してできません。(イ)講師の病気その他やむを得ない事情により、講師の変更、講義を延期または中止することがあります。(ウ)緊急(休講等)の連絡をすることがありますので、申し込み後、住所あるいは電話番号等の変更があった場合には、速やかにご連絡ください。(エ)講義に支障をきたすような行為があった場合には、会場から退出していただくこともあります。(オ)本学には駐車スペースがありませんので、お車・バイク等のご来場はご遠慮ください。

●個人情報の取り扱いについて

武蔵大学公開講座受講者の個人情報は本学の個人情報保護指針に従って厳重に管理し、武蔵大学公開講座の運営並びに本学からの各種講座のお知らせ及び統計的集計を行う目的以外に使用することはありません。今後、本学からの各種講座の案内を希望されない場合は、お手数ですが、武蔵大学 大学庶務課(03-5984-3713)までご連絡ください。

※本学在学学生、高校生の方は、当日学生証または生徒証をお持ちください。
※お申し込み時点で定員に達している場合は、こちらからご連絡いたします。
※携帯電話でメールを送る場合、ドメイン指定受信をしている方は、申し込み先アドレスを受信するドメインに設定してください。
「受付票」は9月15日頃発送いたしますので、当日お持ちください。

お問い合わせ
お申し込み先

(株)武蔵エンタープライズ

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1 (武蔵大学内) TEL : 03-5984-3785
FAX : 03-5984-3787 E-mail : kouza@musashi.ac.jp URL http://www.634.co.jp



MUSASHI
UNIVERSITY